

黒川病院は 子供から高齢者まで すべての方のための 精神科病院です

病院理念

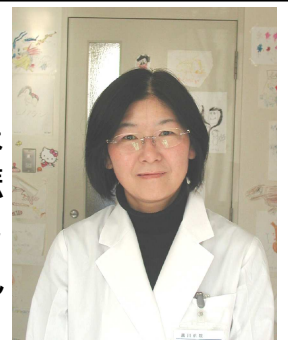
私たちは地域の方々に愛され、
安心して利用できる病院をめざします。

基本方針

1. 地域医療のニーズにこたえる
2. 温もりのある医療サービスを提供する
3. チーム医療の充実を図る

～ 児童外来の紹介～

唐突ですが、子供はそもそも未熟で、失敗が多く、けれども未知のことには好奇心旺盛で、嬉しければ体中で喜びを表現し、悲しかったり、困ってしまえば動かなくなるといったとても愛らしい存在です。自分が愛され、人に必要とされていることが分かれば懸命に役に立とうとし、できないことは努力して身につけようとしています。



医師 稲月 まどか

近年そんな当たり前の子供の姿が見えにくくなり、発達や行動が心配だとして相談や診療を求める方が増えました。と言っても当の子供は自身の事を困っていると訴えたり、何とかしてほしいと思っているわけではありません。

子どもの有り様はその光の当て方やこちらが子供に何を求めているかでも違ってきます。何にでも好奇心旺盛で活発な子どもは、反面多動で注意散漫といえます。物事をよく見てじっくり取り組む子どもは、こだわりを持ち慎重だということにもなるでしょうか。

その子供にとって、子供が生きる場の中でその子らしさを否定されずに、子供だけではうまくいかないことを将来できるようになるためのお手伝いや見通しを持ってないか。子供が感じているだろう困り感をその子供さんに代わって通訳できないか。そんな事を児童外来という場でやっています。

実は病院が現在の場所に引っ越してきた当時から黒川病院に在職している古株です。ですが外来診察室にこもりっきりなので、皆さんのお目にかかることはあまりありません。こんなことやってたんだと驚かれる方も多いと思います。

今子育てはどの親御さんにとっても不安で不確かなものになってきています。子育ては親御さん自身の生き方や生活とも無縁ではなく、子育てを通じ親御さんがご自身に向き合うことを強いられます。育て方のノウハウよりご自分の子供を愛しいと思い子供の有り様を丸ごと親御さんが引き受けられるように、親御さんの頑張りが未来と子供の発達や成長につながるように、これからも微力を尽くしていきたいと思っています。

トピックス

平成21年10月29日木曜日から、当院では社団法人国際厚生事業団による日本フィリピンEPAに基づくフィリピン看護師候補者2名を迎えました。



マリアとクリスティンを囲んで

マリアとクリスティンは日本の看護師国家試験に向けて勉強中です。フィリピンでは、看護大学を卒業し優秀なナースでした。

胎内市に居住し間もない為、環境や習慣、気候に慣れていません。街で会ったり、困ったりしていたら気兼ねなく声をかけてください。

病棟の紹介

日頃の病棟の様子や取り組みなどを紹介します。今回は社会復帰病棟(精神療養病棟)です。

当病棟は長期療養患者さんや条件が整えば退院できる患者さんを対象とした男女混合病棟です。病床数は1階26床2階28床の計54床です。

日常生活能力の向上のために、自分でお金を管理しお菓子やタバコを購入したり、コインランドリーで洗濯をしたりします。退院が決まったら薬の自己管理もしていただきます。アルコール依存症の方には、断酒を目的とした勉強会を8回のプログラムで実施しております。また外の現状を知っていただくため、月1回近隣のショッピングセンターにスタッフと買い物に行ったり、医師の許可があれば旧黒川地区に単独外出もできます。



師長 薄田 三枝

その他、地域生活を送るために必要な能力を養うために作業療法やSST(生活技能訓練)の積極的な参加を促しております。



スタッフのみなさん

現在入院されている患者さんが1日でも早く地域に戻れるようにスタッフ18名患者さんのニーズにお応えしながら個々にあった助言、指導を行っております。

地域の皆様にもご協力いただき、少しでも地域との接点を作っていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

薬剤部からお知らせ

平成21年10月1日より院外処方となりました。

「院外処方」は薬害（副採用）の防止、薬の過剰投与の抑制、より良質な医療の提供に有効なシステムで、厚生労働省が推し進めている施策です。

これまで院内の薬剤部で調剤し、お薬を患者さんにお渡ししておりました。10月1日以降は患者さんが診察をお受けになった際、主治医が「院外処方せん」を発行し、院外の保険調剤薬局でお薬を調剤していただくこととなります。

ただし、児童外来の患者さんにつきましては、院内で対応させていただきます場合があります。何卒、ご理解とご協力を賜りたく存じます。

当院から近い調剤薬局さんはアイン薬局さんです。そのアイン薬局さんをご紹介します。



ご紹介

10月1日より黒川病院の前にオープンしましたアイン薬局さんです。

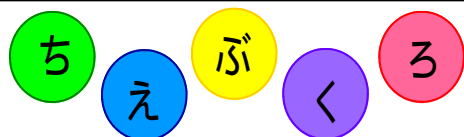
当病院へ患者さんより「雰囲気明るく、説明がわかりやすく、また利用したいです」等の声をいただいております。薬局では、お薬ができるまでコーヒーが飲めたり、雑誌が読めたり、マスクや市販の風邪薬も購入できたりします。また、近所の方で黒川病院にはかかってないけど...という方も処方せんをお持ちであれば、どなたでもお薬を処方していただけるそうです。一度ご利用してみたいかがでしょうか



こんにちはアイン薬局黒川店です。みなさんに親しまれ、安心してご利用いただける薬局を目指しています。お薬のこと、作り方などお気軽にご相談ください。

- < 営業時間 >
- ・平日の午前9時～午後5時30分まで
 - ・第1・第3土曜の午前9時～午後12時30分まで
 - ・他の土曜、日曜、祝日はお休みです。

くろかわらばん 第4号



知っていて損をしない! ちょっと気になることがあるけど今さら聞けない...などなど
今回は、認知症についての講演のお知らせです。

“こころの健康”について考

えてみませんか?

『こころの健康づくり講座』が3回
コースで開催されます。

第2回は認知症についての内容です。

認知症を理解しどう支えていけばよい

のか、皆さんと一緒に考えていく機会になればと思います。

(第1・3回の講座内容に関しては、地域生活支援センターはまなすへお問い合わせください。

認知症ってなに?

日時：平成21年12月18日(金)午後7時～午後8時30分

会場：村上市教育情報センター 1階視聴覚ホール

内容：「老年期のうつと認知症について考える ～認知症って何?～」

講師：医療法人 白日会 黒川病院

認知症疾患医療センター 関野 敏 医師

定員 / 200名まで
要予約

【主催】医療法人 善善会 地域生活支援センターはまなす

【共催】村上市・関川村・粟島浦村

医療法人 白日会 黒川病院 認知症疾患医療センター

(第2回「老年期のうつと認知症について考える」共催)

参加申込みは下記の連絡先までお願い致します。事前に予約が必要です。

医療法人 白日会 黒川病院 認知症疾患医療センター

☎0254-47-2640 (平日午前9時～午後5時まで)

会場はこちらです。



外来診療のご案内

診療科：精神科 内科 歯科

診療日：月曜～金曜日

(土日祝祭日は休診いたします)

ただし、再来の方のみ第1、第3土曜日午前診療を行います。

受付時間：午前8時30分から11時まで

診療時間：午前9時から (診療は午前のみとなります)

もの忘れ、児童外来を受け付けています。児童外来は予約制です。

外来診療は予約制です。

初めての方は午前9時から16時まで予約受け付けております。

相談窓口

初めての方の予約に関して、また診療に関する事や年金、制度の件でお
困りの事がございましたら、ご相談を受け付けております。

0254-47-2422 相談員まで

事務からのお願い

月に1度、保険証を窓口へ
お見せください。

- ・健康保険証
- ・後期高齢者医療被保険者証
- ・限度額認定証

変更がありましたらすぐに
ご連絡ください。

請求書は毎月15日前後に郵送
しておりますので月末までに
お支払いください。

医療法人 白日会 黒川病院

〒959-2805

新潟県胎内市下館字大開1522番地

TEL0254-47-2422 FAX0254-47-3181

http://www8.ocn.ne.jp/~k-hosp/

作成：黒川病院 広報委員会

-編集後記- 今年もあとわずかになりました。去年の漢字は「変」
でしたが、今年はどうな漢字になるでしょう?私にとって今年の漢字は
「微」でした…。(A.I)